

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 9 日作成)

委員会名	情報社会デザイン小委員会	主 査 名：仲 隆介
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：河村 廣
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>社会における情報化の進展は、人々のライフスタイルやワークスタイルを大きく変え、社会構造にも影響を与えてきた。建築や都市も徐々に変化しつつある。しかしながら、テクノロジー主導で変化が進んできた感があり、全体がきちんとデザインされバランスの取れた変化が進んできたとは言いがたい。情報社会において人間らしい豊かな生活のできる環境を構築するためのランドデザインが必要であると考えます。</p> <p>統一的なビジョンを「大きな物語」として共有・提示することの難しさに直面した 2 年間（情報社会ビジョン小委員会での活動）の反省に鑑みて戦略を立て直し、具体的なデザインおよび研究活動の連鎖として、「情報社会」と「デザイン」の関係について検討する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査： 仲 隆介 京都工芸繊維大学デザイン経営工学科助教授 幹事： 本江正茂 宮城大学事業構想学部デザイン情報学科専任講師 河 中 俊 国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部都市開発室長 山田雅夫 山田雅夫・都市設計ネットワーク代表 篠崎道彦 芝浦工業大学システム工学部環境システム学科教授 小林 隆 大和市 大内宏友 日本大学生産工学部建築工学科教授 渡邊朗子 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科専任講師 半明照三 株式会社構造計画研究所事業開発部 山田邦夫 (株)システムスタジオ 沖塩莊一郎 東京理科大学名誉教授 中西泰人 電気通信大学大学院情報システム学研究科助手 五十嵐太郎 中部大学専任講師 石曾根栄之 株式会社バスプラスワン</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>都市・地域計画情報 WG： 都市・地域に関わる空間情報について、3D 都市データの取得技術、流通と活用の状況を調査するとともに、これらをベースとし、GIS やネットワークを利用して行われる新しい計画、設計の方法について、先進的実践の事例を収集、動向を把握する。</p> <p>環境情報デザイン研究 WG： 現在分断して存在している環境デザイン領域、情報デザイン領域、活動デザイン領域を横断した新しいデザイン理論の確立をめざし、地域社会、オフィス、住宅、研究所、大学など具体的な建築・都市空間を対象にケーススタディを行う。</p> <p>トランスネットワークシティ WG： ・CAMs プロジェクトの展開として、カメラと GPS を搭載した携帯電話を用いた「時空間ポエマー（仮称）」を計画する。 ・都市空間をワークプレイスとして使ってみる「モバイル隊 Returns」や、一斉に竣工するいわゆる「2003 年問題」の新規オフィスビルの情報環境の取材などを計画する。 ・情報系の学生と建築系の学生をともに招いてデザインワークショップを行う。</p> <p>ファシリティのあり方研究 WG： 情報化に対応したファシリティのあり方（特に公共施設のあり方に重点を置く）の研究およびそのマネジメントに有効な IT 活用方法の研究を行う。</p>	
2004 年度予算	540,000 円	

項 目	自己評価
-----	------

<p>委員会活動状況 (開催日・参加人数)</p>	<p><u>情報社会デザイン小委員会</u>： 2004年3月26日 15名 2004年6月15日 8名 2005年1月31日 7名 2005年3月3日 8名</p> <p><u>環境情報デザイン研究WG</u>： 2004年4月22日 2004年5月20日 2004年9月23日</p> <p><u>トランスネットワークシティWG</u>： 2004年3月16日 7名 その他は通信審議</p> <p><u>ファシリティのあり方研究WG</u>： 2003年5月27日 ソニーファシリティマネジメント社における事例発表(小鷹氏) 2003年7月17日 今後のWG活動に関する討議 2003年9月16日 日建設計 新本社ビル 見学(榊原氏) 2003年11月18日 IAI 日本支部におけるFM研究活動の発表(IAI 今野氏) 2004年1月21日 ポリフォニーデジタル社 見学 2004年3月10日 小委員会フォーラム 発表内容討議、オフィス情報化部会 活動報告(沖塩先生) 2004年6月21日 グラフィソフト社のCAFM ツール 『ArchiFM』 のデモ見学(榊原氏) 2004年9月27日 日本建築学会 北海道大会におけるFM研究発表(本江先生) 2005年1月14日 オカムラが提案する2010年のオフィス(鯨井氏) オフィスに息抜き「広場」の実現!!(丸山氏) 2005年2月4日 くろがね工作所 新ショールーム見学(くろがね 石井氏) 2005年2月28日 小委員会主催のシンポジウム企画内容討議</p>
<p>得られた成果</p>	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>小委員会全体の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築学会北海道大会研究協議会「情報と建築のあたらしいかたち」開催(2004年8月29日)開催 ・ 建築学会北海道大会研究協議会「情報と建築のあたらしいかたち」資料作成(2004.8) ・ 2004年度日本建築学会技術部門設計競技「ユビキタス・ネットワーク技術を活用した建築・都市・環境空間システムモデル」企画協力 ・ 総合論文誌第4号「情報の視点からみた建築・都市フロンティア(拡張する 建築)」企画協力(2004.8) ・ 情報社会デザインフォーラム開催(2004年3月) ・ 2004 情報システム技術シンポジウム研究集会「情報化時代の建築・教育・社会のあり方 - 建築とITで拓かれるもの、変わるもの - 」共催(2004年12月) <p>委員会HPアドレス：</p>
<p>目標の達成度</p>	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>情報システム技術委員会、他の小委員会、WGとのコラボレーションという形で、当初の目標を達成できたと考える。このように小委員会で完結しない活動は、本小委員会のテーマの広がりを出すものでもあり、それだけ意義のある活動ができたと考える。最後の総括として学会ホールでのシンポジウムを企画しているが、今年度の活動ではなく、新小委員会への橋渡しシンポジウムにすべく次年度の6月に企画中である。</p>
<p>その他評価すべき事項</p>	